

感染症情報 10月16日～22日

府下小児科200療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	609例(堺市	26例)
②溶連菌感染症	314例(堺市	18例)
③RSウイルス感染症	266例(堺市	21例)
④手足口病	137例(堺市	16例)
⑤突発性発疹	92例(堺市	8例)

府下インフルエンザ定点306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	43例(堺市	1例)
---------	--------	-----

が報告された。

感染症報告数は前週比7.5%減の1,691件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、RSウイルス感染症、手足口病、突発性発疹の順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より6%増、堺市で前週と同数であった。溶連菌感染症は府下で前週とほぼ同数、堺市で前週25例→今回18例であった。RSウイルス感染症は府下で前週比25%減、堺市で前週22例→今回21例であった。定点当たりで見ると、前週が1.8で、今回は1.3であった。手足口病は府下で前週比40%減、堺市で前週8例→今回16例であった。

インフルエンザは府下で前週45例→今回43例とほぼ横ばい、堺市では前週3例から今回は1例に減った。定点当たりでは前週0.1で、今回も0.1である。

麻疹や風疹の報告はなかった。